

## 「インターンシップ実習を終えて」 ーインターンシップを通して学んだことー

熊澤奈津実

### 共通目標「社会の基本的なルール、マナーを学ぶ」

5日間のインターンシップの中での共通目標として「社会の基本的なルール、マナーを学ぶ」を立てました。そうしてこの共通目標はまだ達成途中ですが、実習を通して社会人としての立ち振る舞いを学ぶことができたと考えます。この共通目標を立てた理由は社会人としての立ち振る舞いや伝え方を私たちはまだ身につけられていないと考えたためです。1日目から5日目までを通して私たちは「分離礼」や「報連相」など多くの社会のルールやマナーを学びました。特に「訪問マナー・名刺交換練習」が印象に残っています。入室から退出までの一連の流れが書かれているテキストを見たとき、このテキスト通りにできるだろうかととても不安になりました。しかし、前日から当日にかけて2人で何度も練習を重ねたため、打ち合わせではあまり緊張することなく行うことができました。

この経験から、「社会の基本的なルール、マナーを学ぶ」という共通目標を達成するためには、何事も回数を重ね、自然と正しい立ち振る舞いができるようにすることが必要であると気づきました。その気づきを活かして、実習中に学んだ論理的な思考や伝え方、REP法などを意識的に繰り返し、身につけられるように努めました。したがって、「社会の基本的なルール、マナーを学ぶ」の実習を通して学ぶことができたと考えます。

### 個人目標「会社で働く意味、会社で働くとは何なのか、改めて学ぶ」

5日間のインターンシップの中での個人目標として「会社で働く意味、会社で働くとは何なのか、改めて学ぶ」を立てました。そうして社会人になった自分自身のイメージを持つことができたと考えます。この個人目標を立てた理由は自分自身がいずれ社会に出て働く際、仕事に対して自分が大切にしたいことを見つけたいと考えたためです。1日目から5日目までを通して私は「仕事に対するやりがい」と「仕事で大切にしていること」についての2点の質問を考え、お一人お一人に質問させていただきました。「仕事に対するやりがい」に対しては「お客様、相手が笑顔になってくれること」「誰かの役に立っていると感じられること」などがありました。「仕事で大切にしていること」に対しては「充実感を得ることができること」「心身ともに健康であること」と仰っていました。

私はインターンシップを受講するまでは、仕事は生活していける程度の給料を稼ぐためのもので、お金以外のやりがいはないのではないかと考えていました。しかし、皆さんの意見をお聞きし、それだけでは仕事はできないことに気づきました。仕事を通じて自分の存在意義を見つけるため、自分自身を成長させていくために仕事は必要なのだ気づくと同時に、「自分自身が満足し、誰かから必要とされる」ことを大切に仕事をしたと考えました。したがって、個人目標の「会社で働く意味、会社で働くとは何なのか、改めて学ぶ」を達成することができたと考えます。

5日間大変お世話になり、ありがとうございました。

## インターンシップ実習を終えて ～インターンシップを通して学んだこと～

谷口莉花

就職活動に向けて働くことへの理解を深めるために、今回のインターンシップに参加しました。初めてのインターンシップだったため、緊張や不安がありましたが、営業同行やそのための準備、研修など様々な実習を通して成長できたと感じています。その中で、学んだこととして三つ紹介します。

一つ目は共通目標に掲げた「社会の基本的なルールとマナー」についてです。先述したように、営業同行のために訪問マナーを学び、名刺交換の練習を行いました。特に名刺交換は名刺入れの向きや挨拶の仕方、受け取り方など気を付ける点が多くあり、落ち着いてできるか不安でしたが、何度も練習を行ったため、本番ではスムーズに名刺交換をすることができました。

また、報告の大切さを改めて学ぶことができました。作業が終わったことを報告することで、次の仕事に取り組むことができ、時間を有効に活用することができます。そして全体でも進捗状況を確認することができるため、報告は必要不可欠であり、社会人として身に付けておかななくてはならないものだとして再確認しました。

二つ目は「相手に伝わる話し方」です。企画についての説明を受けた際、お客様とのコミュニケーションを取る時には、話が「論理的」であるかどうか意識されていることを学びました。結論と理由に矛盾がない、飛躍しない、事実と根拠に基づくことが論理的に話す際のポイントとなります。他にも伝え方として、結論・理由・具体例・再度結論の順番に話す PREP 法や、「一つ目は…二つ目は…」といったように情報を整理して伝えるホールパート法も学びました。始めの頃は、質問に答える際に論理的な話し方などを意識できていなかったため、伝えたいことが伝わらないことが何度かありましたが、学んだ後にそれらの方法を意識して挑戦すると、伝わりやすさはもちろん、話す側としても整理して話すことになるため、話やすさを感じることができました。

三つ目は「自分に向いている仕事の傾向」です。私は今回のインターンシップに参加する際、個人目標として「自己研究」を挙げました。これは就職活動に向けて、自分を最大限に活かすことができる仕事を見つけるためです。様々な業務の説明や体験をする中で、仕事の傾向を掴むことができました。それは営業アシスタントです。営業アシスタントは、営業チームや講師の方と連携しながら、期日までに様々な業務をこなす必要があります。日々の生活では、与えられた課題や任せられていた仕事に対して、途中で投げ出すことなく結果を残すために計画を立て、期日までに達成できるよう、取り組んでいます。そのため、営業アシスタント業務と通ずる所があり、自分に向いている仕事であると考えました。

このように、今回のインターンシップでは、基本的なマナーから自分自身のことについてまで、新しい気付きを得、学ぶことができました。この貴重な経験を活かし、これからの大学生活や就職活動に取り組みたいです。